

**平成21年度**  
**入間市青少年異文化体験訪問団**  
**派遣事業報告書**



**期 日**      **平成21年7月29日（水）～8月7日（金）**

**入      間      市**  
**入間市国際交流協会**

## 目次

○ 派遣使節団員名簿	1
○ 行動予定表	2
○ メンバー紹介	3～5
○ お世話になった方々	6～11
○ 行動の記録	12～35
○ アルバム	36～45
◎ 使節団員報告	
☆ドイツ報告書	山本巴菜香 46～48
☆忘れられない日々	今井えいみ 49～50
☆ドイツに行ってきました！！	山本 恭聖 51～52
☆ドイツからの贈り物	望月 美紀 53～54
☆青少年異文化体験訪問団派遣事業を終えて	田代 高久 55～56
◎ 学習の記録	
☆森の幼稚園	山本巴菜香 57～58
☆学習の記録	今井えいみ 59～60
☆ドイツで学んだこと	山本 恭聖 61～62
☆ドイツの学校教育制度について	望月 美紀 63～64
○ 異文化体験訪問団派遣事業に参加される方々へ	65
○ ドイツの地方紙に掲載された記事	66～68

## 行動予定表

日時		内容
7月29日(水)	06:40	入間市役所集合
	06:45	出発
	12:20	成田空港離陸(LH715便・ミュンヘン直行便)
	17:40	ミュンヘン空港着
	19:30	ヴォルフラーツハウゼン市着
	19:30	歓迎会(ヴィルトハウス筏屋)
	21:00	ホストファミリー宅へ
7月30日(木)	09:00	第一市長表敬訪問
	10:00	実科学校見学
	14:00	環境の日
	20:00	開館記念コンサート
7月31日(金)	08:30	オーバーランド観光
	19:00	キャンピングルーム
8月1日(土)	10:00	バイエルンプロジェクト
	10:15	仲間紹介ゲーム
	11:00	ヴォルフラーツハウゼン・ラリー
	14:00	民族衣装試着・撮影
	15:00	バイエルンの遊び
	16:30	食事の支度
		場合によっては、キャンプファイヤー
8月2日(日)		ホストファミリーとの一日
8月3日(月)	09:30	ヴァルト幼稚園
	10:30	丸パン作り
	14:00	シュタルンベルガー湖観光
8月4日(火)	09:00	ミュンヘンへ出発
	10:00	スタントショー
	12:00	アリアンツ競技場
		バイエルン国立オペラハウス
	午後	市街見学・買物
	夜	青少年とのプログラム
8月5日(水)	09:30	ダッハウ強制収容所
	19:00	お別れ会(ヴィルトハウス)
	21:30	終了
8月6日(木)	09:15	買物
	10:15	お別れ
	11:00	ヴォルフラーツハウゼン市発
	15:40	ミュンヘン空港離陸(LH714便・成田直行便)
8月7日(金)	10:25	成田空港着
	11:30	成田空港発
	14:30	入間市役所着

山本巴菜香	
	初めての海外で不安と期待で凄く待ち遠しかったドイツ！！ おしゃれで自然と調和した芸術的な建物。ドイツの方々の人柄の良さと優しさに触れホームステイが出来たことは夢のようでした。あっという間に過ぎてしまったホームステイ。異文化交流の重要性を改めて感じた滞在でした。これからもっと海外の文化や言語に触れてみたいと関心が高まりました。基本の英語はやっぱり大切ということも身をもって実感しました。
メンバーより	
今井 えいみ	私のお姉さんの存在でした！！ しっかりしていて、いつも頼りにしていました♪ 毎日楽しかったね！ またソロがしたいね！
山本 恭聖	派遣団員、最年長で皆をしっかり仕切ってくれました。ありがとう！！
望月 美紀	一番年上でやさしいお姉さんでした！ さすがリーダー☆ 年の差関係なく、たくさん話もできたし一緒に楽しい滞在を送れました！
田代 高久	4人の青少年はよくまとまっていました。これもリーダーの尽力によるものでしょう。「森の幼稚園」も見学できたと、「参加できて本当に良かった」と感じています。この経験を今後の人生に活かしてください。
今井 えいみ	
	行く前は不安もあったけど、1日ですぐに慣れました！ 帰る時は悲しかったけど、また行けるチャンスがあったら行きたいです。貴重な経験ができたことに感謝したいです。
メンバーより	
山本巴菜香	皆に慕われて、ドイツでも”えいみブランド”が立ち上がるほど(笑) その笑顔に皆癒されました(ハハ\ ) 同じ家にホームステイをして、ティーポ(馬)に乗ったり、アルプスへ行ったり、猫のエイミーの感動的瞬間に立ち会ったり・・・凄く楽しかったね♥ そして寝る前に勉強してる頑張り屋さん！！ また一緒にドイツに行こうね！！(〇▽〇)
山本 恭聖	何かと話題になるエイミー！！ ありがとう！！
望月 美紀	いつもニコニコ、エイミー。一緒に話したり盛り上がったりとっても楽しかった！！ エイミーの笑顔、癒されます！ タイタニック一緒にやったの忘れないでね！
田代 高久	受験生の立場で応募した積極性と勉強熱心なものには感心しました。その意気を忘れずに、今後の人生を歩んでください。

山本 恭聖	
	初めての海外で不安でいっぱいだった。だけど、ホストファミリーのみんながとても優しく、なにより今回の派遣団メンバーでよかった！
メンバーより	
山本巴菜香	普段は口数が少ないのでコミュニケーションが図れるのかなと疑問でした。でも、ホームステイ先がとても楽しかったみたい。スポーツ大好きホストファミリーと毎朝ジョギングしたり、会話を楽しんでいたことに驚きました。背の高さだけはドイツの人に負けてなかった。日本のTschacka Lacka BOY!?
今井えいみ	はじめは仲良くなれるか心配だったけど、すぐ仲良くなってよかったー！ サッカー上手かったね～★
望月 美紀	男の子一人だったけど何の違和感もなく、話したり、一緒に湖のお祭りやsky line parkへ行ったりしてとっても楽しかったよ～！
田代 高久	唯一の男子で、姉と一緒に。出発前には「やりにくさを感じているんだろうなあ」と思っていました。でも、よくまとまってくれました。スポーツ好きの家庭をホストファミリーにしてくれて、ヴォ市に感謝しています。この経験を今後の人生の糧としてください。

望月 美紀	
	やっぱりドイツはいいところ！ みんな優しくて、街はきれいで、あったかい国でした！ 国が違っても言葉が違っても気持ちは通じる！ 将来ここに住みたい！ と思えるようなところでした。一緒に行ったみんなとどんな事でもすぐ盛り上がれて、とっても楽しい時間を過ごせました！
メンバーより	
山本巴菜香	行きの機内でO.Aに英語で話していたミッキー。ドイツに着いてからも色んな情報をどんどん吸収していた積極性…脱帽です。そしてタービットと手をつないでいたあの場面は…！？ 私たちの知らない間に何が！？ 持ち前の社交性と英語力、最年長の私よりかなり頼りになりました。色々迷惑かけてごめんね(;へ;) ありがとう！！
今井えいみ	一番下とは思えないほど本当にしっかりしました！ 英語もすごいできるし！！ 全然年が離れてる気がしなかった！！ だからすぐ仲良くなって、すごいたのしかったよ～ミッキー♥
山本 恭聖	最年少ながら英語が一番強いミッキー！！ ムードメーカー的存在で、その場を盛り上げてくれました。ありがとう！！
田代 高久	最年少なのに、英語も一番上手でしたね。今回、新たに貴重な経験ができ、世界の広さ・多様性を実感できたと思います。これから、もっと広い世界に出て行けます。

田代 高久	
	<p>終わってみて「より多くの青少年にこの経験をさせてあげたかった」と改めて感じました。派遣された4人には「人生の節目の秋に、この派遣で得たこと、感じたことを思い出し、判断の材料の一つとして貰いたい」と感じています。</p>
メンバーより	
山本巴菜香	<p>パイエルンプロジェクトの時、一緒にサッカーをしたことが印象に残っています。何でも積極的に取り組む姿勢は見習わなければいけないと思いました。派遣団長お疲れ様でした。</p>
今井えいみ	<p>積極的に話してコミュニケーションをとっていたのが印象的です！ たくさん迷惑かけたと思います。派遣団長お疲れ様でした。</p>
山本 恭聖	<p>ドイツでは、英語を使って積極的に話している姿が印象的でした。これからも頑張ってください。</p>
望月 美紀	<p>カタコト英語だったが積極的にいろんな人たちに話しかけていました。色々お世話になりました。</p>

## お世話になった方々

### ホストファミリー



**ヴォルフガング・レッフラー家** 山本巴菜香・今井えいみのホストファミリー

ヴォルフガング・  
レッフラー氏

クリスティーネ・レッフラーさん（妻）  
イザベラ・レッフラーちゃん（子）

クルト・マイヤー氏  
（妻の父）

カロリーネ・レッフラー  
さん（子）

イルムガート・マイヤー  
さん（妻の母）

## ホストファミリー



### セバスチャン・マイヤー家 山本恭聖のホストファミリー

セバスチャン・マイヤー氏  
アントニオ・マイヤーさん（妻）

コービニアン・マイヤーくん（子）  
クリスティーナ・マイヤーさん（子）

### シュテファン・シュイル家 望月美紀のホストファミリー

ガブリエレ・ヒアラ・シュテファンシュイルさん（妻）  
シュイルちゃん（子）シュイル氏

ターニャ・ムツハさん  
（子）





入間友好促進協会



会長 エルヴィン・ポロチェク夫妻



フリッツ・グランドル氏  
&クラウディア・アルベルトさん



アネット・シューリンクさん（右）テレザ・ボルツマッヒャーさん デビッド・スタウブ氏



マリア・マンネスさん



オットー・ゲップナー氏



ヴァルトラウド・ボガッチュさん



ヨハンナ・デングラーさん

通訳者



山本久志くん



山本文保氏



山本緑さん



シュバルツアー・節子さん

ハーヴの先生



バナナフィッシュボーンズ



森の幼稚園の先生



ダッハウ収容所の説明者（右）



望月美紀さんのペンフレンド



ミリアム・コールさん

ヴォルフラーツハウゼン市関係者



ヘルムート・フォルスター第一市長夫妻



ペーター・プレッセル第二市長



クリスチーネ・ノイツサー第三市長



ペーター・シュトルチーナ氏




ガビー・マルシュナーさん

初日 7 / 29 (水) 出発

山本 巴菜香

時刻	行動	場所	内容
6:40	集合 出発	市役所前	<p>朝早かったけれど、市役所の方と交流協会の方が見送りに来て下さいました。</p> <p>重～いスーツケースをバスに積み出発！！</p> <p>大型バス1台の中は運転手の諸井さんも入れてたったの7人！！何も言わずに一人一列を陣取る！！(笑)</p> <p>えいみちゃんはバスの中で受験勉強(*д*) 頑張れ受験生！！みきちゃんは音楽を聴きながら夢の中(?)</p> <p>あまりにも暇すぎて残り二人でしりとり開始。リスースイスカート→トス・・・いじめられた姉でした(;д;) 途中から皆熟睡・・・気が付くと成田空港の車両セキュリティチェック。これから海外に行くんだな～と実感♥</p>
	到着	成田空港	<p>途中渋滞のため少し遅れて到着</p> <p>夏休みに入っていたけれど、人はあまりいなかった。</p> <p>機械でチケットを発行。パスポートをかざしてボタンを押すだけでチケットが出るなんて・・・チョット感動</p> <p>円をユーロに変えるため窓口へ・・・</p> <p>1ユーロ=139円・・・高い！！(&gt;д&lt;)</p> <p>みきちゃんは来る前に換えたのもっと安かったらしい・・・。</p> <p>ルフトハンザ715便でミュンヘンへ出発！！</p> <p>えいみちゃん・はなか／たかあき・みきちゃんです座る。</p> <p>機内では映画を上映していたけれど、全部英語でわからない！！ さっそく自分の英語力のなさにガックリ・・・。</p>
12:20	離陸	飛行機	<p>離陸してから4時間ぐらいで食事。主食を選ぶのだけれど、前の二人C.Aの人に英語で振られてアタフタ(&gt;&gt;&lt;)</p> <p>後ろのみきちゃん、ちゃんと会話してる！！</p> <p>年上の2人は・・・！！(&gt;д&lt;)</p> <p>食事は結構な量、11時間30分座りっぱなしなので、2食だけでも、く、苦しい・・・。</p>



時刻	行動	場 所	内 容
			<p>機内が暗くなり、強制就寝。体内時計をドイツ時間にしないと！！</p> <p>バスで寝ちゃったから眠れない・・・と言いつつ、気が付くと眠ってました（； ^ v ^）</p> <p>起きてから窓を見ると、山と森、山と森・・・中国？ 見渡す限り深い緑で覆われていたり、赤土のような土地を曲がりくねった河が途切れ途切れに流れていたり・・・とりあえず陸続き。日本が島国だと実感</p> <p>初海外なのでこんなことで一人テンションが上がっていた私です。</p> <p>ミュンヘンが近付くにつれて、皆慌ててドイツ語の挨拶や歓迎会で話す文章を作成。（；・皿・）果たして伝わるのでしょうか・・・。</p>
	到着	ミュンヘン空港	<p>予定より早く無事にミュンヘン空港に到着！！</p> <p>飛行機を降りて移動中、突然テンションの高いおじさんとサングラスのお兄さんに話しかけられそのまま写真撮影会！？</p> <p>“ジュテーム”を連呼され、なんだ、このおじさんはっ！！</p> <p>Σ（° ㏎°）・・・と           思っていたら空港の職員の人だった。そして搭乗口まで案内してくれました。疑ってごめんね、おじさん。そして熱烈歓迎ありがとう（笑）</p> <p>長い通路を通りやっ        と出口へ。大勢の出迎        えの人の中に“IRUMA”の文字が！！</p> <p>ヴォルフラーツハウゼンの人たちと初対面</p> <p>今回、私と同年の子が多いので楽しみにしていましたが、お、大人っぽい・・・そして可愛い。（*_*）</p> <p>皆、頑張ってドイツ語で自己紹介。緊張したね（； * ㏎ *）</p> <p>挨拶をしてから駐車場へ。外は晴天！！ すごく熱くて日差しが日本より強かった！！（・・・痛いくらい）</p> <p>その中、久志君とDavidが戻ってこなくて待ちぼうけ。溶けちゃうよ～早く～（； &gt; ㏎ &lt;）</p>

時刻	行動	場 所	内 容
17:30 頃	出発	ヴォルフラーツハウゼン市へ	<p>空港出発！！ ヴォルフラーツハウゼンへ そしてアウトバーン初体験！！ 通過していく車のスピードが日本とかなり違うんですけど・・・（°Д°；） 乗っていた車も130キロ。それを抜く他の車・・・ ドイツの車は最高260km！！ もはや絶叫マシン・・・？ 着いた早々異文化を体験しました（；^^） そして日照時間が長い。時計を見ると既に19時！！・・・でも外は15時のような明るさ。</p>
	到着	ヴィルトハウス	<p>帰宅ラッシュと重なり、予定より遅れて到着 市長さんやホストファミリー、職員の方と対面 お店の外で歓迎会が始まる。</p> <p>ホストファミリーのレップラー一家と 歓談。とても親切で、 一生懸命話しかけてくれた。</p> <p>つたない英語力のため、向こうが歩み寄ってくれてなんとか 会話が成立（；^^） 飛行機で動かなかったのでお腹がすいていなかったけれど、 デザートも注文。食い意地張ったのを後で後悔（；へ；） 運ばれてきたデザートにびっくり、でかい！！ レモン シャーベットを頼んだら、大きなお椀にいろんなフルーツ の角切り。その上にシャーベットが乗っていた・・・（°□°；） ここで炭酸入りの水を初試飲。思っていたよりも炭酸が きつくて水の味がしなかった。</p> <p>解散する前みんなトイレへ。個室の扉が透明！？ 鍵 をかけるとすりガラスに！！ トイレまでおしゃれなのか・・・</p>
22:00	解散		各ホームステイ先へ…
1:00 頃	就寝		明日は6時起きなのに・・・午前2時頃就寝



2日目 7/30(木) 市長表敬訪問・リサイクル会社 今井えいみ

時刻	行動	場所	内容
	朝食	ホストファミリー	目覚めよく起床\(^o^)/ 日本では普段食べないようなパンを食べた！ プレッツェルも！ おなかいっぱい。
8:40	集合	ロイヤルホール駐車場	歩いて市役所へ。 
	表敬訪問	市役所	<p>ヘルムート・フォルスター第一市長表敬訪問 日本とは全然ちがう雰囲気・・・！！ しかも市長は、フレンドリーに私たちを歓迎してくださいました。</p> <p>中に入ると、本物の会議室だっ！ すごーい！ 私たちが入っていいの？と思った。 飲み物とプレッツェルが用意されていたけど、おなかいっぱいだ(&gt;_&lt;)</p>   <p>ここで市の説明をしてくださいました。ヴォルフラーツハウゼン市の仕組みなど。質問などもしました。ドイツと日本の違いを感じました。</p>



時刻	行動	場 所	内 容
	見学	市立実科学校	<p>見た目も日本とは全然違っていた。  校内見学をして、コンピュータの難しそ～な3Dの授業や低学年の音楽の授業などを見学した。そこではハーモニカを演奏してくれた！ 上手でみんなかわいかった～。</p> <p>ドイツは州ごとに行っている教育が違うらしい・・・  !!!  !!</p> <p>体育館は日本とあまり変わらなかったけど、舞台がなかった。  職員室も日本と全然雰囲気違った。  アイスもらいました～。</p> <p>外にはたくさんの生徒が！！</p>  <p>卓球で遊んでいる子たちも^^</p> 
13:00	昼食	イタリアン レストラン	<p>おしゃれー★  外で食べることに。  おいしかったけど・・・で、でかい(・・・;)!!  サラダも多い～。</p> 

時刻	行動	場 所	内 容
14:30	見学	WGV リサイクル会社	<p>すごいゴミの量・・・！ ゴミ収集車までペンツ！！！！！！</p> <p>これが土にもどるんだってー！ 徹底していた。</p>
		ハーブ説明	<p>面白いヤギがたくさんいた！！ 見ていると近寄ってきてかわいかった。</p> <p>森の中でハーブや薬草などの説明をしてもらいました。ハーブ水やたんぼぼのジャムや初めてお花なども試食しました。チーズもとてもおいしかった。蚊の量がすごく多かった・・・。</p> <p>コンサートのため一時帰宅。</p>
17:30	到着	「バナナ フィッシュ ボーンズ」 コンサート	<p>インタビュー？！話を聞いた^^</p> <p>サイン入りのCD、ポスター、キャップをくれた(^ ^)！</p> <p>初めて...でも楽しかった、(^。^)/☆ ファンの人達は踊りまくってて圧倒された！ 外国らしい♪ 追っかけの女の子がおしゃれしてて一緒に歌ってた！！</p>
22:00 頃	解散	帰宅	<p>さむーい。星がキラキラ輝いてた(&gt;3&lt;)</p>
24:30	就寝		<p>たーくさん色んなものを見た。楽しかった～^^</p> <p>すっかり目はドイツになれた(笑)</p> <p>一日が終わっちゃうのは悲しいけど、明日のためにお休み～</p>



3日目 7/31(金) 観光

山本恭聖

時刻	行動	場所	内容
朝	起床	家	朝はホストファミリーと朝食!!
	朝食	家	主食はパン!!
	集合	ロイザッハ ホール駐車場	金曜の朝は、駐車場でマーケットが開かれるとのこと!!
	出発	ノイシュバン シュタイン城	<p>移動中、道を間違えて迷子になったりしてようやく到着!!</p> <p>この日は車でノイシュバンシュタイン城へ!!</p> <p>到着、と思いきや、そこから急な坂道を30分ほど歩いて</p> <p>やっと到着(&gt;_&lt;)</p> <p>城内は残念ながら撮影禁止!! 携帯の解説器を貰い場内見学。内容が難しく理解できず ・・・(^。^;) でも、とても綺麗で感動!!</p>
昼	昼食	レストラン	城下のレストランで昼食!! スープがいとまじ!!
	移動		<p>お城の後は世界遺産にも</p> <p>れている、『ヴィース教会』へ!!</p> <p>教会は、日本のものとは比べ物にならないほど大きく、装飾がかなり派手!! 夢の中にいるみたいだった!!</p>
夜	到着	ロイザッハ ホール駐車場	ヴォ市へ到着!!
	夕食	レストラン	一日中観光をしていたので疲れていたけど、みんなでイタリアン!! ピザ・パスタを頼んだのだが・・・大きさが異常。とても一人で食べ切れる量じゃなかった。
	帰宅	家	有名な観光名所を回り、楽しかった!! この日は、疲れもたまっていたので早目の就寝





4日目 8/1(土) 市内めぐり、バイエルンプロジェクト

時刻	行動	場所	内容
朝	起床 朝食	ホスト ファミリー宅	
	集合	リッティヒ・ ヴィラ	広い部屋で、みんなで待ち合わせ！
	遊び	リッティヒ・ ヴィラ	<p><u>仲間紹介ゲーム</u> 一人ずつ自己紹介を英語でしていった。</p> <p><u>さかなパタパタゲーム</u> テレザが考えたゲームで、魚の形の紙をパタパタあおぎながらお皿にのせる。これを2つのチームにわかれてどちらが先におわるか競ったよ！ 意外とむずかしくて苦戦！ とっても盛り上がった(^^)！！</p>  <p>ヴォルフラーツ ハウゼン市内</p> <p><u>ヴォルフラーツハウゼン ラリー</u> クイズを解きながら市内を歩いて回りまわった。各地点にかくされていた木の札をあつめてまわった！ ちょっと坂をのぼると、そこから見えるのは絶景！</p>  <p>最後の札のかくし場所はなんと日本庭園！ 市内に日本庭園があった！ 集めた札から、『Friend ship』の文字が！</p>

時刻	行動	場 所	内 容
昼	昼食	リッティヒ・ヴィラ	みんなでソーセージやパンやサラダを食べた！ ソーセージとってもおいしい！！
	民族衣装体験	リッティヒ・ヴィラ	みんなでドイツの民族衣装体験！+写真撮影！ いっぱい写真ばかり撮られててちょっとお疲れ...
	遊び		<p>バイエルンのあそびをした(^O^)!            ビールジョッキ抱えや、コースターをつかったゲーム、指あそびをやった！ ゲームや衣装についてなどインタビューも。。</p>  <p>着替えた後にサッカーやバドミントンをして遊んだ！            楽しかったー！！            遊んだあとに女子はテレザの料理のおてつだい！ みんなでつくった！！</p> 
夜		湖のお祭り 乗馬	<p>恭聖・美紀はお祭りへ！ えいみ・巴菜香は乗馬に！</p> <p>お祭りではみんなビール片手に、ダンスや演奏を聴きながら仲間同士で話したりしてもりあがっていました！            とっても楽しかった～！！</p>
	帰宅	ホストファミリー宅	<p>一日の疲れをとるために！            ぐっすり睡眠ZZZ。。</p>

5日目 8/2 (日曜日) ホストファミリーとの1日 山本 巴菜香

時刻	行動	場所	内容
7:00頃	起床	レップラー家	今日は天気予報では雷雨!! (>∩<)。早めに家を出て、“アルプス”へ向かいます。私とえいみーの希望を聞き入れてもらいました(^∇^)
	朝食		朝は晴れ! 凄く暑い(;_д_) 本当に雷雨になるのかな? 今日の朝食メニュー・・・パン(いろいろな種類のチーズやハム・ジャムをのせて♥)、紅茶 部屋で支度をしていると田代さん到着
9:30頃	出発		Lilleの車(+えいみー・私・Bella)とPapa(+Irmgardおばあちゃん・Mama・田代さん)の車2台に分かれてアルプスへ出発!! ドイツからオーストリアへ!! EUってすごい!! 国境越えがあつという間にできる、EUの醍醐味を味わう。 Lille曰く、夏休みなので凄く混んでいたらしい。(日本人から見ると前に車がいるだけで、スムーズに流れていただけ?) いつもは140キロぐらい出してパーっと行けるらしい・・・。
	到着	アルプス	2回ほど景色を見つつ、トイレ休憩をはさみ、お昼頃アルプスの麓へ到着!! 晴れていたけど風はすごく冷たいっ(>へ<) 登山客も多く、自転車でここまで来た人もいるみたい。すごい(@_д@)体力・気力・筋力!  <p>アルプスは写真みたい(●^o^●) 湖の色もきれい!!</p>

時刻	行動	場所	内容
13:00	昼食	麓のレストラン	奥に進む前に腹ごしらえ♪ 私はパスタスープ。やっぱり味は濃かった。そしてバター の油がたっぷり浮いている・・・。 だんだん食事の量を自分で調節できるようになってきた。 (^u^)...気がする。 食後のデザートに皆で5品注文!! ...こんなに食べられません(# 3#)
14:30  16:00	登山	アルプス	田代さん・Bella・Papaは少し険しい山登りに。 私たちは山に沿って通っている道をお散歩♪ 崖から何本か湧水が! 飲んでみたら、とても冷たくって 美味しかった。(●^v^) アルプスの山頂は、まだ雪が積もっている。私たちを抜 いて山頂を目指して行く人達はすごい荷物 雪山にピックをさしながら登るみたい。頑張れ～。 (^_^)/~  雲行きが怪しくなってきたので車に戻る。
17:30	見学   買物	スワロフスキー美術 館	次は <sup>スワロフスキー</sup> SWAROVSKIの美術館へ!! 18:30に閉まってしまうのでぐるっと一周 スワロフスキーでできたディズニーキャラクターもあ った。 スワロフスキーの アクセサリはゴー ジャス!! そして 高い!! (¥d¥) ゼロいくつ付いてる の!?   ~Shopping time~ アラビア系の奥様はショーウィンドウに飾られている アクセサリを購入していました。Σ(石油王夫人!?) そして帰る前にビックリ!(写真に撮れば良かった) トイレがおしゃれ!!(第2弾) どこのプラネタリウム!? 洗面台が夜空みたいに青 色のパネル。宇宙みたい!! 手を出すと蛇口がライトア ップ!! 素敵なトイレタイムでした。(笑) 車に向かうとき Papa がスワロフスキーが付いた鉛筆をプ レゼントしてくれました。(^o^)

時刻	行動	場 所	内 容
20:30	夕食	レストラン Silberberg	<p>Lille お薦めのイタリアン料理屋へ。</p>  <p>お店に入ると、外は雷雨と土砂降り!! 計画的に回ったのでぬれずに済みました。(U3U)♪ お薦めのピザを“2人で1枚”頼む。 何で2人かって言うと・・・ ピザの大きさ41cm!! おいしかったけど、でかかった・・・。</p>
22:00	帰宅		<p>珍しく早く帰ったので、Mama・Bella・Lille・えいみー・私で SOLO (ドイツ版 UNO) に挑戦!! 日本の UNO とカードが何枚か違っている。「誰かとカードを交換」でき、ルールも違うので楽しかった!! (●&gt;V&lt;●)</p>
23:30			<p>ゲーム終了、部屋に戻る。</p>
1:30	就寝		<p>バナナフィッシュ ボーンズの CD を リビングでずっと 流してました♪ (^v^) リビングでくつろいでいると、 夜は寒いけど、 リッチな気分。 だってこんなに 広いんだもん!! (&gt;v&lt;) 3階の1フロア全部!! 私とえいみーが自由に使っていていよって貸してくれました。 日本のマンションと1フロアが変わらない・・・。海外の家って本当に大きいんだなと実感</p> 



5日目 8/2(日) ホストファミリーとの一日 恭聖&美紀

時刻	行動	場所	内容
朝	起床 朝食	ホスト ファミリー宅	
	礼拝	教会	家のすぐ近くにある教会で礼拝に参加しました！！ 良い体験ができました！
	集合 出発	ロイヤル ホール駐車場	
	到着 遊び	Sky line park	<p>車を1時間ほど走らせ、Sky line park に到着！</p> <p>日本の遊園地とは、 少し違った雰囲気の Sky line park !</p> <p>あまり馴染みのない 乗り物もいくつかあり、 テンション↑↑ だがしかし！！</p> <p>ドイツといえど、遊 園地の主役と言ったら やっぱりジェットコー スター！！</p> <p>1日の間にいったい何種類のジェットコースターに乗 ったことか・・・。</p>



時	行動	場所	内 容
			 <p>中でも一番怖かったのが、これ！！ ↓          なんとこのジェットコースターは、体感速度200キロ？くらいの速さでした^_^; 途中で逆さになったりねじれたり・・・。          しかも、故障で止まらなくなったりも・・・。          それでも楽しかったから、2回も乗っちゃいました(*^。^*)</p>
昼	昼食	Sky line park	<p>Sky line park 内の売店でソーセージやサラダを食べた！！          午後になって急に雲行きが怪しくなり・・・ついに雷雨の中、水のジェットコースター？に乗ってから帰ることに↓↓</p>
	出発		<p>無念の帰宅。泣          でも、楽しかったから車内ではみんなと話しで盛り上がった！！</p>
	到着	ロイヤルホール駐車場	<p>夕方にやっと到着          疲労もあったのですぐにお別れ。各ホームステイ先へ・・・。</p>
夜	帰宅	ホストファミリー宅	<p>恭聖：家に帰ったら、リビングでお母さんが待機何かと尋ねると、まさかの夕食作り！！ クリスティーと力を合わせて頑張りました！！</p>
	就寝		

6日目 8/3 (月曜日) 幼稚園・パン作り・湖 山本 巴菜香

時刻	行動	場所	内容
8:20	起床	レフラー家	寝坊、携帯を握りしめたまま二度寝していた私・・・ママのノックで起床。慌てて支度。
9:00	集合	ロイヤルホール駐車場	<p>駐車場でマーケットが開かれていた。すでに集合していたメンバーはマーケット見学をしていた。 ちゃんと起きてればなあ・・・(;へ;)</p> 
	見学	ヴァルト幼稚園	<p>森の幼稚園へ！！ 左手に牧場、右手には果樹園？ その間に大きな木の隣で可愛いカラフルなプレハブ小屋が。 そこが、森の幼稚園♥ 実際に見たのは初めて！！ 建物はその小さな小屋だけ。活動は外 幼稚園に着いてから大粒の雨が降っていたけれど、幼稚園では関係ない！！ 皆カッパと長靴をはいてお散歩 ドイツでも幼稚園では歌を歌って朝の挨拶をしていました。 お誕生日の子がいて、小屋の中でパーティーを開きました。</p> 

時刻	行動	場所	内容
10:30頃		ブルーガーベーカリー	<p>パン工場でプレッツェル作り  頑張って伸ばすけれど、ゴムみたいに縮んでしまい上手く形にならなかった。スピード勝負？  さすが、工場の方は素早く綺麗な形に。</p> <p>トレーに乗りきらないくらい作ったけど、これ全部自分たちで食べるんだよね・・・。</p> <p>作り終わってから、パンをごちそうになりました。こんなに食べられない(&gt;▽&lt;;)ってくらいテーブルに乗ったパイや菓子パン  飲み物も頂いて、“パンパーティー”？ おなかいっぱい食べました。( ^ u ^ )</p> <p>でき上がってビックリ！！  作ったプレッツェルは大きなかご2つ分、食べきれなかったパンもお土産に頂いて昼食に！？</p>
昼食		ベルガー湖	<p>湖の近くの駐車場に車を止めて歩いてベルガー湖へ。  久志のおしゃれサングラスで盛り上がる。ジョン・レノンにしか見えないよ～  (笑)</p> <p>魚料理が食べられるレストランで昼食。お腹いっぱいパンを食べたけど、食べる！！( ^ u ^ )</p> <p>魚肉団子が入ったスープを食べたけれど、魚の味が濃厚すぎ(&gt;▽&lt;)</p>





時刻	行動	場 所	内 容
14:00 頃	乗船		<p>昼食の後、船へ・・・。</p>  <p>タイタニックのまねをしたり、のんびりと船の旅を満喫しました。天気が悪く、途中雨が降って来たので船内へ避難 お絵かき大会始まる。久志とクリスティーナの似顔絵を描いた。久志はクリスティーナをモデルに写実的なデッサンを・・・。 上手い！！ 意外なところでヨーロッパの芸術が見られました（笑）</p> <p>夕食の会場へ行く途中、久志の家に忘れ物を取りに・・・。 家の隣にあるパン屋さんを見るとささやかに“ようこそ入間の皆さん”と歓迎されていた！！ 入間市のマークがケーキになって飾られていました。</p> 
	夕食	図書館	<p>えいみーと私がみんなより一足早く到着。すると知らない男性がバーベキューの準備をしていた。・・・ジャッキー・チェン？ 実は久志パパでした。（*^。^*）</p> <p>今日作ったプレッツェルを主食にサラダと分厚い牛肉、ソーセージを食す。 常にお腹は満腹状態・・・（- 3 -）でも美味しかった♥ 寒くなったので館内へ。 久志と妹の緑ちゃんがデュエットを披露してくれました。</p> 
22:30 頃	解散		クリスティーナの車で送ってもらい帰宅
23:30	就寝	レフラー宅	お風呂に入って就寝

7日目



8 / 4 (火)

ミュンヘン観光

今井えいみ

時刻	行動	場所	内容
8:15	集合 出発	ヴォルフラーツハウゼン駅	<p>ここ駅！？ てかホームだ(笑) なんか切符なくても全然平気そう。 電車・・・日本とあんまり変わらない。あっという間にミュンヘンに。</p>
9:00 過ぎ	到着	ミュンヘン 市街	 <p>         たくさんの人！ やっぱ都会だ！          チャカラカ Boy を探しながら^^          いざ出発=3          塔の階段を何段も登ってやっと、ミュンヘンを一望・・・。          教会はとてもきれいでした☆          その後街をぶらぶら。街全体が本当にきれいでおしゃれ！！          途中でラーメン屋も発見！ サッカーgoods や高級そうなお店で買い物♥          100%ジュースをみんなで飲み、、、な、何と！！          チャカラカ Boy 発見！！！！！！ もちろん一緒に写真を撮ってもらいました〜♪          みんなテンション上がったた(笑)       </p>
		サッカー スタジアム	<p>再び電車に乗りサッカースタジアムへ。 うわあ〜(° 0°)デカイ… 一般人が入れない、記者の人たちなどが入る特別な入口から。さらに、お金持ちが観戦する部屋にまで入ることができた。</p>  <p>         すっごい広〜い！ テンション上がって、とりあえず各スポンサーや会社の部屋を見まくる(笑) 社長室・モデルルーム・バーみたいなタイプが色々あって面白かった、(^.^)ノ そして走ってみた^^ このスタジアムは声がよく響くらしい。ここで応援してみた〜いと思った！ 貴重な体験で楽しかった★       </p>

時刻	行動	場所	内容
15時頃	昼食	ミュンヘンへ	<p>またまたおしゃれなお店に。ここは注文してから目の前で作ってくれた。</p> 
16時頃	買物	ミュンヘン	<p>それぞれお土産など買い物 お土産がチョコばっかで何を買ったらいいか迷う。 (ドイツの店員さんは優しくない…笑；) みんな大量に買った。</p> 
21時頃	到着 解散	ヴォルフラーツハウゼン駅	<p>各自帰宅</p> <p>それぞれのホームステイ先へ…</p>
24:30	就寝	家	今日も幸せな一日でした・・・zzZZ

時刻	行動	場所	内容
朝	起床 朝食	ホスト ファミリー宅	
	集合	ロイヤッハ ホール駐車場	
	出発		<p>派遣事業初の全体での収容所見学                      ダッハウでは、ガイドの方を通してそこで行われていた、とても悲しい事実を目の当たりにしました。また、ガス室や焼却炉も見て回りました。</p>  
昼	昼食	レストラン	






時刻	行動	場 所	内 容
	観光	お城の庭園	<p>昼食後、時間があつたため大きな庭園があるお城へ！！</p>  <p>名づけて [久志の城]！！ 庭園の入口はまるでジブリの世界！！ 眺めも最高で気持ちのリフレッシュができました。</p> <p>※運が良ければ、トトロが見られるかも！！</p> 
	到着	ロイヤルホール駐車場	<p>午後4時ごろに到着。 各ホームステイ先に戻り、お別れ会準備</p>
夜	お別れ会	ヴィルトハウス	<p>みんなで浴衣・甚平を着て集合 お別れ会には、第一市長をはじめ青少年・ホストファミリーが参加しました。途中からアトラクションとして日本の遊びやビンゴゲームをして盛り上がりました！！ お世話になった方々と記念写真を撮って、徐々にお別れムード（泣）</p>  
	帰宅	家	<p>ホストファミリーとの最後の夜 それぞれがいろいろな思いを胸に就寝</p>

5日目 8/6(木)


みんなと、ドイツと お別れ

望月美紀

時刻	行動	場所	内容
朝	起床 朝食	ホストファミリー宅	
	集合	ロイヤルハホール駐車場	市長さんほかの皆様がお別れをいいに来てくださいました！ みんな本当にいい人たちだった！ 本当にいい街だった！！ 空港までお見送り組と一緒に車でミュンヘン空港まで。
		ミュンヘン空港	荷物を預けた。みんな重たくなっていて20kg越えの物もあったけど、おまけしてもらえてよかった！
昼	昼食	空港のレストラン	時間があつたので、みんなでレストランへ！ でもなかなか料理が出てこず、結構待っていた。。。
	お別れ	ゲート前	長いようで短かった滞在も終わり。 写真とったりお別れをずっとしてたりしていた。。 本当に帰りたくなかった(´`´)!! もっとみんなと一緒にいろんなところ行ったり遊んだりしたかったなあ。。 また必ず会えることを祈って！最後にみんなで集合写真も！  ゲート過ぎてからも見えなくなるまでずっと手を振っていた。みんなありがとー！！
	搭乗 着席	機内	機内では えいみ・はなかとみき・たかあきの前後2列に分かれて着席。トランプをしたりしたよ！ 帰るなんて信じられない。。ってみんな言ってた！   機内食を食べたりお菓子を食べたり。。。そして!!!! 飛行機にのっていると、なんと日が沈んできた！ とってもキレイな夕日を見られた！ 沈む瞬間がとっても不思議な感じ！
夜	就寝		自分たちの旅を思い出しながら、 時差ぼけしないためにもおやすみーZzz.... 機内はちょっと寒かった。。

最終日 8 / 7 (金曜日) 帰国

山本 巴菜香

時刻	行動	場所	内容
		機内	<p>機内では4人でトランプ大会。事前研修会もあったけれど、あまり話す機会がなかったのが一変。毎日顔を合わせて、一緒に出かけているうちに凄く仲良くなりました。この4人でよかったね(*^。^*)</p> <p>初めて空の上で夜を体験しました。地上の夜は明かりがあるけれど、上空は闇</p> <p>機内も暗くなったけれど、しばらく目が冴えて眠れませんでした・・・気が付くと目の前に朝食が。</p> <p>朝日が差し込んで気持ちの良い目覚めでした。</p> <p>でも、もうドイツにはいないことを思い出し複雑な心境。夢から現実の世界に戻るような気分</p>
10:00頃	着陸	成田空港	 <p>日本に帰国。うっ！！ 蒸し暑い・・・( ; Д ; )</p> <p>みんな「ドイツに帰る！！」と大合唱</p> <p>出口では増岡さんと諸井さんが出迎えてくれました。</p> <p>「日本暑い！嫌だ！」と会って早々、愚痴を浴びせられる増岡さん。</p>

時刻	行動	場 所	内 容
			<p>バスに乗ってから増岡さんにドイツでの思い出・出来事を皆、思い思いにマシンガントーク・・・聖徳太子になった増岡さんでした。</p> <p>行きのバスより、帰りの方が元気な4人 ドイツでパワーを充電？ そして日本で放電？（笑） 放電した後は皆熟睡。やっぱり疲れていたみたい。</p>
		サービス エリア	<p>昼食を買うため下車 久しぶりのおにぎり。やっぱりお米が一番美味しかった！！</p>
15:30 頃	到着	入間市役所	<p>お忙しい中、自治文化課の皆さんと保護者の方にお出迎えしていただきました。</p> <p>ドイツの皆さんと市役所の方・国際交流協会の皆さんに支えられ、とても充実した滞在になりました。この体験は一生の宝物になりました。ありがとうございました。 絶対4人でまたドイツに行くぞ～！！</p>

7月29日（水）

成田空港 出発ロビー



ミュンヘン空港



ヴォルフラーツハウゼン市の方と対面・歓迎会



7月30日（木）

市長表敬訪問



実科学校見学



7月31日（金）

ノイシュバンシュタイン城



世界遺産 ヴィース教会



フュッセン観光



8月1日(土)

ヴォルフラーツハウゼン市街



ヴォルフラーツハウゼンラリー



友好日本庭園



バイエルン州民族衣装



夕食



湖のまつり





8月2日(日)

オーストリア



アルプ

ス



8月3日（月）

ヴァルト幼稚園



プレッツェル作り



船上のベンチでくつろぐ  
クリスティーナ



8月4日（火）



ミュンヘン



昼食・麺を選べるパスタレストランで



8月5日（水）

ダッハウ強制収容所



旧城の庭園 トトロが出てきそう・・・



お別れ会

8月6日（木）

ミュンヘン空港 ドイツ最後の写真



機内から見た夕日



8月7日（金）

機内から見た朝日



市庁舎前到着





結団式



帰国報告会



# ドイツ報告書

山本 巴菜香

外国でのホームステイは、不安と期待でいっぱいでした。

言葉や生活習慣の違い、ホームステイ先で家族の方とコミュニケーションは上手く出来るのか・・・しかし「百聞は一見にしかず！」ドイツに着いてから、不安は吹き飛びました。

上空から徐々に見えてきたミュンヘンは、自然に溢れ、緑や街並みの美しさが目に飛び込んできました。

初めて降り立ったミュンヘン空港では、航空会社の方に気さくに声をかけられ、歓迎を受けました。日本では、初めて会う人や面識の無い外国人に声をかけて歓迎することは殆どないので「これが外国なんだ！！」と意志や感情などを伝え合うことが日常的に行われている外国の習慣を早速体験しました。

入国手続きが済み、ロビーでは大勢のヴォルフラーツハウゼン市の方々の歓迎を受け、少々緊張しましたが、飛行機の中で覚えたドイツ語での挨拶も無事に終わり（通じたかは疑問ですが…）、徐々に打ち解けていく私たちでした。当初、不安の一つであった「言葉の違い」は、思っていた程感じられませんでした。

お互いを理解しようと歩み寄り、何日間か行動を共にしていると相手の表情や声色で気持ちを読み取ることができ、単語が分からなくても雰囲気で言いたいことが分かり、言葉の壁はさほど感じませんでした。そして、話していることを理解しようとする気持ちがあれば“心で会話”できるように思いました。ホームステイ先でのホストファミリーとのトランプや食事は、ドイツ語・英語・日本語と色々な言語が飛び交う異文化交流でしたが、本当に楽しく過ごすことができました。だからこそ、日を追うごとにドイツ語は勿論、世界共通語の英語の大切さを感じました。もっと信頼関係を気付きたい、もっと深く知りあいたい、もっと色々なことを尋ねたいと思った時、語学の大切さを痛感しました。日本にいたら気が付かないことです。この、国際交流に参加したことで語学、コミュニケーション、異文化交流の大切さを学びました。

ドイツでの8泊10日の滞在は、普通の海外旅行では経験できないことばかりでした。

ヴォルフラーツハウゼン市の方々、入間市の国際交流協会の方々、そのほかたくさんの方々の関係者の方々のお陰で様々な所を見学し、参加することが出来ました。

私の学習テーマである「森の幼稚園」の見学ができ、ドイツの幼児教育に触れる機会にも恵まれました。





また地元の市立実科学校（日本の小学5年生から中学2年生までが通う）では、子ども達の授業を見学するという貴重な体験もできました。学校は、朝の8時から始まり13時に終わります。午後は学外のクラブ活動や個人の時間にあてられます。授業は選択式で中学2年生の理数系のクラスでは、パソコンを使って3Dやプログラミングの授業が行われていました。

日本の学校とシステムが異なり、大学までは無料ですが、早くから将来の道、方向性を見つけなければならないドイツの子ども達。やりたいことに専念できる一方で、自己責任を負わなければいけないという厳しい面も感じられました。

また、ドイツは環境立国とも言われていますが、まさに環境に配慮して様々な取り組みが行われていました。街並みも美しいですが、古いものを大切に使う自然への配慮。

通訳をして頂いた山本久志さんのご自宅は築200年でした。壁一面が蔦に覆われていて、とても200年経っているとは思えない、趣のあるとても素敵なお自宅でした。

ヴォルフラーツハウゼン市では、環境に配慮することや景観を維持するために、住宅や建物を建設する時、そこに大きな木が植えてあっても切り倒すことはしないそうです。

建物を移動して、元からそこにある「木」は生かす、なんとすばらしい考え方でしょう。

家々には、手入れされた可憐なお花や緑が溢れ、壁面にはキリストの絵画や馬の絵が描かれていました。ドイツの何処へ行ってもおとぎ話の世界のような街並みが広がっていました。

ヴォルフラーツハウゼン市に滞在中、沢山の方々にお世話になりました。中でもホストファミリーに連れて行って頂いたアルプスは、陸続きのオーストリア国境を越えるという

ことでワクワクしていました。ところが、境界線の看板が道路わきに置いてあるだけだったので教えてもらうまで気が付きませんでした。国境を越えるのは意外と簡単で驚きました。

ドイツは絵葉書（？）と思えるような美しい風景。ボリューム満点の食事。どれをとってもスケールが大きかった。

また、戦争の負の遺産とも言える収容所を見学した時は、流石に気が滅入りました。どのような理由があっても戦争は悲劇でしかありません。平和な世界を祈り、平和の大切さ、日常が平穏に過ごせている有難さを痛感しました。国や考え方が違って、このように異文化交流をすることで相手を知れば、戦争なんて考えられません。世界はみんな友達、家族です。



また、世界遺産のヴィース教会やノイシュバンシュタイン城は、その豪華な造り、繊細な彫刻に吸い込まれていくようでした。外側からは想像できない金や宝石で飾られた

装飾や、パステルカラーの淡色ながら圧倒させられる芸術品に目を奪われました。

本当に短い「あっ、という間の8日間」でした。この8日目、最終日の朝は、ホストファミリーとは離れがたく中々車に乗り込むことが出来ませんでした。

私たちが開いたお別れ会には大勢の方が出席して下さいました。そしてスケジュール通りに進めるために運転手になって頂いたヴォ市の方など、貴重な時間を提供していただいた全ての方に感謝いたします。

素晴らしい経験と素晴らしい方々と知り合うことが出来たことは、一生の心に残る宝物になりました。今後、他者と考えの違いや様々な壁に衝突することもあるでしょう。しかしこの経験から行動すること、最初の一步を踏み出せば色々な可能性と未来が開けることを知りました。

**We have a good**



# 忘れられない日々

今井 えいみ

はじめは、インフルエンザの流行で行けるかどうか心配でしたが行くことができ本当にありがたく思います。10日間という短い間でしたが驚きと発見の毎日で、本当に充実した日々を送ることができました。

## 【 ホストファミリーとの思い出 】

初めは緊張と不安な気持ちがありましたでしたがすぐにその気持ちは消え、たくさん話したいという気持ちが大きくなりました。ホストファミリーはいつも優しく、笑いが絶えない愉快的な家族でした。ある日、おばあちゃんとおじいちゃんと私たちだけの時があり、2人は英語が話せなかったけど一生懸命コミュニケーションをとろうとしてくれました。夜ごはんは何？ と聞くと、必死になって色々な方法で伝えようとしてくれました。私たちも必死になって分かれようとしていましたが、結局その時は解決しませんでした。後になって「かぼちゃ」ということが分かりました。

お互い言葉が通じなくても何か別の方法で伝えようとする事や、必死になって伝えようとする事が大切だと改めて思いました。



「星が好き」と言ったら見に連れて行ってくれたり、馬に乗せてくれたり、アルプスにも連れて行ってくれました。本当に親切で私たちにたくさんの経験をさせてくれました。

最後の日の朝、新しく飼う子猫に私の名前をつけるというサプライズもありました。この子猫は家族からおじいちゃんへプレゼントされた大切な猫でした…突然のことでしたが、「ドイツにエイミー2がいるから絶対

対忘れないし、いつも一緒にいるね。」と言ってくれたのです。本当に驚きましたがなにより嬉しかったです。

しかし私は、英語がしゃべれないので、自分の思ったこと、感じたことをありのままに上手く伝えることができなくて、ホストファミリーにちゃんと自分の気持ちが伝わっているか分からないので、ちゃんとしゃべれるようになってからもう一度会って、自分の口から感謝の気持ちを伝えたいです。

私にとってどれも大切な思い出になり、毎日笑顔が絶えず、心の温かいこの家族と出会えて本当に幸せに思っています。

【 ドイツ～ヴォルフラーツハウゼン～ 】

私は、ドイツという国がどういう国か知りませんでした。ヨーロッパにも行った経験がなく、どのような町並みで、どのような気候で、どのような人々なのだろう、という興味を持って行きました。

空港に着くとすぐに驚くことが待っていました。それは、ドイツ人が私たちを見て、フレンドリーに声をかけてきて、写真も撮りました。日本では考えられないことで圧倒されましたが、不安もなくなり、ドイツでたくさんおもしろいことが待っている。と思いました。

気候もやはり日本とは違って、日差しが強くほとんどの人はサングラスをかけていました。日本では、めったに見ない光景だったので本当に外国に来たんだ、と実感しました。空港からの車の中からさえ道路の広さ、建物、車は高級車が多いなど日本との違いがたくさん見つかりました。ホストファミリーの家も広いし車も数台持っていて、見る物見る物すべてが発見ばかりでした。

一番印象に残ったことは、夜の9時半くらいにならないと暗くならないことでした。私は時計を持って行き忘れたので、時間を把握するのがすごく難しかったです。時計を持っていなくても、空の明るさでだいたい判断できると思っていましたが、感覚も狂ってしまい、6時くらいだと思っていても実は8時とかいうことが多く、毎日夜遅くまで遊んでいました。数日間短かったですが、毎日、帰りが遅くくたくたになるまでドイツを感じることができました。なので、一日一日が短いようでとても長かったように感じます。

食べ物、町並み、習慣も違って、数日間たくさん異文化を発見し、体験できました。改めて異文化に興味を持てました。また、ドイツという国の文化だけではなく、歴史、言葉もより知りたいと思うようになりました。この数日間が私にとってとても大きいものになりました。テレビや写真と違って、現地に行き、人々と触れ合い、異文化を体験することこそ、他国を知るうえでとても大切なことだと思いました。今回、参加できて本当にありがたく思います。今後、この経験を生かして行きたいと思います。

すべての方々に感謝したいです。本当にありがとうございました。いつかまた絶対にドイツに行きたいです！



# ドイツに行ってきました！！

山本 恭聖

ドイツ、ヴォルフラーツハウゼン市で過ごした約10日間では、今までしたことのない、貴重な体験を沢山しました。ホストファミリーのマイヤー家の方々を始めとした、ヴォ市の方々にとても温かく歓迎していただき、生涯忘れることのない大切な思い出となりました。

今回の派遣が初めての海外だったため、自分の英語は伝わるのか、家族と仲良くなれるか等、数え切れないほどの不安を抱えて日本を飛び立ちました。しかし、ホストファミリーの方々が、まるで私も家族の一員のように接してくれ、すぐに打ち解けることができ、不安でいっぱいだった気持ちもスッキリしました。ホストファミリーとは、日が経つにつれ会話の量も増え、一緒に歌を歌ったり、料理をしたりして毎日とても楽しく過ごしました。クリスティーナは日本に対しての関心が強く、日本の歴史やドラマ、音楽などについての知識が豊富でとても驚きました。些細なことですが、私がドイツについて学んだように、彼女も日本について学んでいたと思うと嬉しく感じ、他国から見た少し違った日本の姿を知ることが出来ました。



ヴォ市を含め、バイエルン地方では環境問題への取り組みを重要視しているらしく、町にはたくさんの木々が生え、ゴミの処理などに多くの工夫がありました。ゴミを再利用するための手段には、日本では取り入れられていないものもあり、ドイツから学ぶべきことだと感じました。また、建物の規制も厳しく、町の景観をととても大事にしていると教えていただきました。特に東京などの景色を見慣れている私にとって、高層ビルのないドイツの景色には感動を受け、何か新鮮な気持ちになりました。そんなドイツの町並みはとても美しく、まるで夢の中に入り込んだように感じられました。

ドイツの町には、キリスト教会が多く、いくつかの教会を見て回ることが出来ました。教会内の装飾やステンドグラス、パイプオルガンなどは、日本のものとは比べ物にならないほど、大きく華やかなものばかりで感動しました。日曜日は近くの教会の礼拝にも出席し、日本ではあまり出来ない貴重な体験や、ドイツの文化に触れることが出来まし

た。



この約10日間では学ぶことが多く、とても充実した日々を過ごすことが出来ました。今回学んだことを糧とし、これからもより一層頑張っていきたいと思います。滞在中に面倒を見てくださったホストファミリー、青少年のみなさん、山本ファミリー、ヴォ市の方々、派遣団メンバー、両市の職員の方々、本当にありがとうございました。

# ドイツからの贈り物

望月 美紀

時間がすぎるのはあっという間で、楽しかったヴォルフラーツハウゼンでの生活もすぐに終わってしまいました。

ヴォルフラーツハウゼンは本当に綺麗な街で、のびのびとしたところ。緑もたくさんあって、高速道路では150キロはあたりまえ。同じ夏なのにカラッとしていて夜は寒いくらい。そんな普段の生活とはまったく違った国は私にとって本当に新鮮な場所でした。みんなすごく優しく、あったかい人たちばかり。

時間を忘れるような楽しい毎日。どこを見渡しても自分の目では初めて見る光景ばかり！ 初めてドイツに行って、またひとつ成長できた気がします。

私のホストファミリーはシュイル家のみなさんでした。お父さんのステファンとお母さんのガビー、19歳のお姉さんターニャと9歳の妹キアラ。ターニャは市の職員ということもあり、どこにいくにも大抵一緒についてきてくれました。

家では主に英語を、他はドイツ語、日本語、イタリア語と、お互い教えあったりして使っていました。ガビーは英語が少し話せたので、朝のご飯の時間や、家に帰ったときなどたくさん話しかけてくれて、日本のことについて教えてあげたり、ドイツのことも色々教えてくれました。イタリアが近いせいか、イタリア語が得意で「よくイタリアに行く」と言っていました。たくさん話しかけてくれるので私からも話しかけやすかったし、「何かあったらお母さんに何でも言ってね！」といつも言っていてとてもうれしかったです。「いただきます」「ごちそうさま」の習慣は向こうにはないので、教えてあげて毎日一緒に言っていました。朝リビングの方へ行くと「おはよう！」と日本語であいさつしてくれてうれしかったです。だから私も知っているドイツ語はフルに使ったし、色々な言葉を教えてもらいました。

妹のキアラは英語はまだ話せないけど、一緒に遊びました。リコーダーが得意で吹いてくれました。ターニャとはファッションや芸能人の話など今時のことから、法律や経済、自国の問題まで、本当に幅広いジャンルの話をしました。「ドイツの学校では、歴史はヨーロッパのことしか学ばず、第二次世界大戦後のことしかアジアについては知らない」と言っていました。学校見学にも行きましたが、ドイツは早くから専門的な部門の学習へ進んでしまいます。だからそういった世界の歴史への知識はあまりないようでした。見学に行った学校では子どもたちは休み時間には卓球をしていました。ドイツに卓球のイメージはなかったため、ちょっとびっくり。「こんにちは」と日本語で挨拶されたり、写真をとっていたらみんな集まってきてくれたりしました！ 校舎は2階建てのもの。日本は4階建てくらいはあたりまえなので、こちらの学校では開放感を感じました。

一緒に行動をしていたクリスティーナやアネットは日本のドラマやバンドなど、たくさん知っていて、私が知らないような日本のバンドを知っていたり、「ドラマを見て勉強した」と日本語を話していてびっくりしました。「マンガ」も今では世界共通語。日

本の文化とも言えるとおもいます。他にも音楽や映画など共通の趣味から話が盛り上がったりしました。

今回、市内だけでなく、ミュンヘンやロマンチック街道など様々な場所へ行ったり、様々な料理を食べたり民族衣装を着たりと、初めて体験するようなことばかりでした。

どんな所にも必ず人とのつながりがあり、たとえば市内のスーパーやお店に入るにしても、挨拶を知らない人にもしていたり、逆に挨拶されたり。街を歩いていてもそれは一緒。いろんなところで、いろんな人の温かさが感じられました。それと同時に、自分の意思をはっきりと表さなくてはいけないんだと感じました。ドイツの人たちは自分の考えや意思をはっきりと示します。「あなたはどうなの？」と聞かれたときに、相手は『私の意見』を聞きたいと思っている。あいまいな答えや「わからない」というような日本ではありがちの考えはまったく通用しないと思いました。そして自分の意思を表すためには言葉を使う。ここで私は自分の語学力不足も感じました。自分はこう表現したいのに言葉がわからない。そんな場面もありました。色々な話をしていると、自分では思いつかなかったような新しい意見、アイデアを持っている人もいたし、こういう考え方もあるんだ！ と自分の考え方の幅がすごく広まったと思います。言葉を通して相手の趣味や考えや、ドイツの王様の歴史や国のこと、知らないことを本当にたくさん教えてもらいました。まだまだ知らないことはたくさんあって、世界は広いんだとも思ったし、言葉はすごく大事なもので、便利なものだ改めて気づかされました。次はドイツ語で会話がしたいとも思いました。

この派遣事業を通して、たくさんの人たちと出会うことができました。人の温かさにもふれて、今まで知らなかった初めての地で生活をして。ドイツでたくさんのことを学び、経験することができました。これはドイツからの最高のプレゼントです。そして何より、ヴォルフラーツハウゼン市の人たちに会えたことが本当に嬉しい。これからも交流を続けていきたいと思っています。派遣人数が、今年は例年より少ない4人という少人数でしたが日本から一緒にこのメンバーで行けたことも本当によかったと思います。そして自分の体験を通して今度はみんなに伝え役立てていきたいです。今回のこの派遣事業を実行するにあたってご協力していただいた双方の市の方々、受け入れてくださったホストファミリーのみなさん、本当にありがとうございました！ Danke schön！！





# 青少年異文化体験訪問団派遣事業を終えて

団長 入間市自治文化課主幹 田代 高久

7回目を迎えた「青少年異文化体験訪問団」派遣事業の使節団長として、姉妹都市ドイツ・ヴォルフラーツハウゼン市を訪問した。平成18年度に続いて2回目のことである。

この夏は新型インフルエンザが蔓延し、県内36市町村がその影響を受け31の国際交流・協力事業が中止となった。そのような状況下で最終的に事業を実施した結果、この機を逃せば再度使節団員として派遣される確証のない青少年に貴重な機会を提供し、また、実際に感染する者もなく帰国することができた。本当に喜ばしく感じている。

今回は、4人の青少年が市民宅にホームステイすることにより、ドイツの家庭生活を体験しホストファミリーとの交流を深めた。彼らは、青少年を主としたヴォ市市民とも積極的に交流し、かけがえのない財産を手にも帰国した。ヴォ市と南バイエルン地方の自然・文化・歴史についても学習した。

青少年は、それぞれがより明確に学習テーマを持ってヴォ市を訪れた。そのテーマに基づいて学習するために、ヴォ市には当方の意向を最大限に受入れていただいた。ドイツ人の機微に触れる施設であるダッハウ強制収容所の見学についても理解をいただくことができ、その配慮に大変感謝している。

4人の青少年には、人生の節目の秋に、この派遣で得たこと・感じたことを思い出し、判断の材料の一つとして貰いたい。そして、この経験を自分だけの宝とせず、市国際交流協会に、そして地域に還元することを期待している。この気持ちは、前回派遣団長として訪問した後のそれと全く変わるところはない。

さて、冒頭で「2度目のドイツ訪問」と記した。初めて訪れたヴォ市の、その街並みの美しさ、自然の豊かさには感動したものである。しかし、再訪となると見方は異なってくる。

ドイツでは、ヴォ市に勝るとも劣らない美しい街並、ヴォ市にはない自然豊かな光景を目にする機会が少なからずあった。坂に面したバード・テルツなどの街やアルプスの大自然は、正しくそうであった。

だが、どんなに美しい街並や豊かな自然を有する街が他にあって、やはり私にとってヴォ市以上の街はない。何故だろうか・・・。

今回の訪問において私が最も楽しみにしていたことは、美しい景観でもなく、本場のソーセージでもなく、前回訪問時に楽しんだヴァイスビールでもなかった。それは、3

年前にお世話になった方々、また、この3年間に入間市で会うことのできたヴォ市市民と再会することであった。

相互に母語ではなく、ましてやこちらはカタコトの英語で取れるコミュニケーションなど高が知れている。しかしそれでも、直接顔を合わせ、言葉を交わし、再会を祝せたことが最高の喜びであった。



「袖触り合うも多生の縁」と言う。手許の辞書によると「見も知らぬ旅人同士が同じ木の下に一時いこい宿るのも、消して偶然ではなく、この世に生まれる以前からの深いつながりによるものだ」との意味である。いわんや姉妹都市をや、である。

縁あって姉妹都市になったヴォ市の市民に対して私は、「姉妹」とまでは言わないが、他人に対するものとは全く異なる感情を抱いている。そんな人々の住む姉妹都市を好きになるのは、自らが生まれ育った街を当然の如く愛するのと、同じであろう。姉妹都市になったから、その地の市民に特定の感情を持った筈だが、何故か、その市民がいるから姉妹都市に一層愛情を覚える。これは、実際に私がヴォ市市民と交流する経験を持たたからこそ得ることのできた感情であろう。

派遣事業を終えて、改めて、交流を通じてより多くの両市民に同様の思いを抱いて貰いたい、と感じた。そして、本当に遥かではあるが、その先には必ず、戦争のない世界が待っていると信じている。

